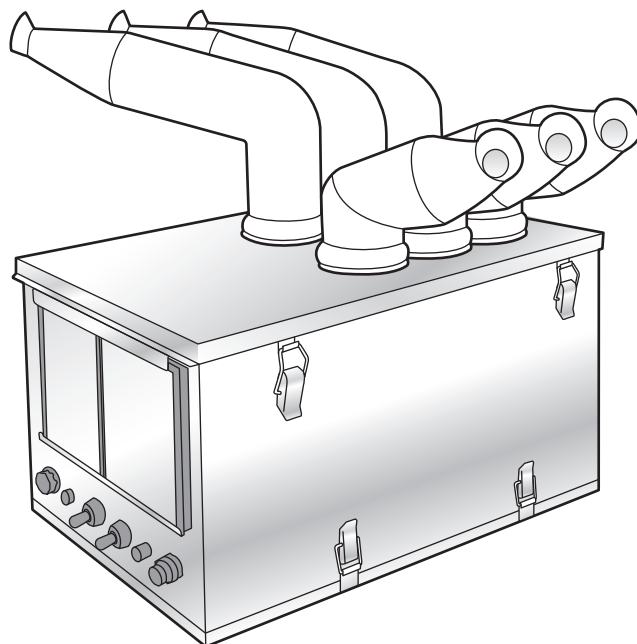


超音波加湿器

MODEL: NP796



お買い上げいただきありがとうございます。この取扱説明書には、事故を防ぐ為の重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に製品をお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

故障したら使わない

すぐにお買い上げの販売店または当社お客様サービスセンターに修理をご依頼ください。

定期的に点検する



安全及び性能維持の為にも、お買い上げ時とその後、1年に一度は安全点検を行ってください。

万一、異常がおきたら

- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げの販売店または当社お客様サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大ケガなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり周辺の家財に損害を与える事があります。

● 注意を促す記号



火 災



感 電

● 行為を指示する記号



● 行為を禁止する記号



禁 止



分解禁止



接触禁止



火 災



感 電

下記の注意を守らないと

火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

アースを必ず接地に接続する

アース線またはアース端子を必ず設置に接続してください。
接続しない場合、感電の恐れがあります。



製品を水平に取り付ける

据付けの際には、落下点灯によるケガ防止のため、本体重量に耐えられる場所へ水平に取り付けて下さい。

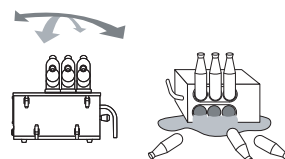


傾斜・転倒させないように取扱う

液体が入った状態で本体を全方向45度以上に傾けると、内部水槽の液体がこぼれる恐れがあり、感電や故障の原因となります。



禁 止

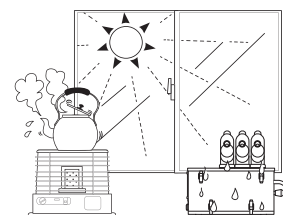


火中に投げたり、設置に不向きな場所に置かない

ほこり、油煙、虫の入りやすい場所、水のある場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない。内部水槽以外に水が入ったり、濡れたり、指定の使用温度範囲・湿度以外で使用すると、内部回路の漏電・発熱などで故障や発火の恐れがあります。また火災や感電の原因となることがあります。



禁 止



必ず水道水を使用する

水道水以外の液体を使用しないでください。指定外の液体（ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・化学薬品・芳香剤等）を使用した場合、故障の原因となります。アルコールや石油などの引火性溶剤は引火や爆発の恐れがありますので絶対におやめください。



定期的に清掃を行い、古くなった液体は使用しない

長期間使用せず槽内に溜まったままになっている水や、汲み置きの水等、古くなった水道水は使用しないでください。レジオネラ菌等、雑菌やカビが繁殖を抑えるため、定期的な清掃を行ってください。清掃しないまま運転し続けたり、指定外の液体を使用した場合これらが空中噴霧される可能性があり、健康を害する恐れがあります。最悪の場合、死亡・重篤になる可能性がありますので絶対におやめください。



内部に水や異物を入れない

水道水以外の液体を使用しないでください。指定外の液体（ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・化学薬品・芳香剤等）を使用した場合、故障の原因となります。アルコールや石油などの引火性溶剤は引火や爆発の恐れがありますので絶対におやめください。



禁 止





下記の注意を守らないと

火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

吸気口に指や物を入れない

内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因になります。



分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、不用意にフタを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。

内部の点検や消耗品の交換、修理はお買い上げの販売店または当社お客様サービスセンターまでご依頼ください。

※当社の許可なく開封または改造、規格変更をして使用した場合、保証対象外となり有償修理になる場合がありますので、予めご了承ください。



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げの販売店または当社お客様サービスセンターまで修理をご依頼ください。



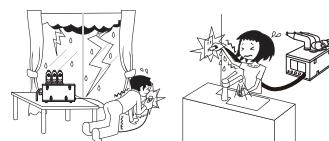
人が通行するような場所に置かない コード類は正しく配置する

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げの販売店または当社お客様サービスセンターまで修理をご依頼ください。



感電の恐れがあることはしない

雷が鳴っているときに電源プラグに触る、ぬれた手で電源プラグの抜き差し等をする、感電の原因となることがあります。

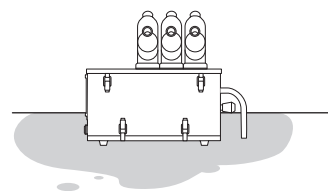


本体から水が漏れていたらずぐ電源 プラグを抜き、修理を依頼する

本体が故障した時や揺らしたり倒したりした場合、液体が漏れることがあります。感電する恐れがありますので、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。また、内部の液体を抜き取ってから修理依頼をしてください。



プラグをコンセントから抜く

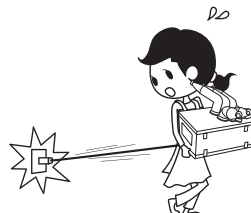


移動時、清掃時、点検時、長期間使用 しない時は、電源プラグと液体を抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、内部の液体を抜き取ってください。感電や故障の原因になります。



プラグをコンセントから抜く





注意

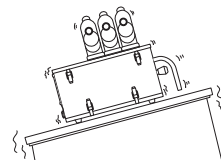
下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりする事があります。

必ず安定した場所に設置をする

ぐらついた台の上や傾いたところになどに置いたり、落下・転倒防止対策を行わない場合は、製品が落ちたり転倒したりして、けがや家財及び本機の破損の原因になります。



禁止

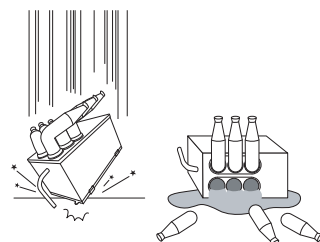


傾斜・転倒・落下させないよう、ていねいに取扱う

本機は精密な部品で構成されていますので、落下や転倒させると内部の機器（ファン・発生管等）の破損の原因になります。また、液体が入った状態で本体を全方向45度以上に傾けたり倒したりすると、内部水槽の液体がこぼれる恐れがあり感電や故障の原因となります。本機の破損の原因になります。



禁止



水平状態で運転する

本体がナナメ横転、逆さの状態では絶対に電源を入れないでください。フロートスイッチの作動により、本位の破損、水漏れ、感電の原因になります。



給水バルブを開けてから運転する

必ず給水バルブを開けてから、本機の電源を入れて運転をしてください。給水バルブを閉めたまま運転すると電磁弁が故障し、給水や止水ができなくなります。

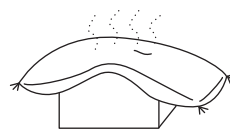


吹出口や吸気口をふさがない

吹出口や吸気口をふさぐと、霧を外に排出できなくなり、水槽内の水温が上昇し、熱がこもります。本機の故障や火災の原因となりますので、絶対に行わないでください。



禁止



必ず吐出管を装着して運転する

吐出管を取り付けない状態で運転すると液体が飛び散り周囲を濡らすばかりか、本体内部に液体が侵入してしまいます。内部に液体が入ると故障や感電の恐れがあります。



長期間ご使用にならない時は電源プラグと液体を抜く

安全のため、必ず水槽内の液体を排出し、汚れがひどい場合は清掃をしてください。また、給水バルブを閉めてください。



電源コードについて

AC100V仕様はヒューズホルダーの電源コードがACプラグとなっており、AC200V仕様はY端子となっています。



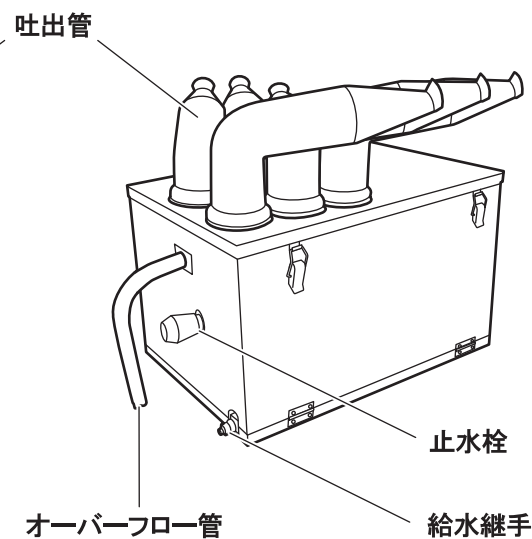
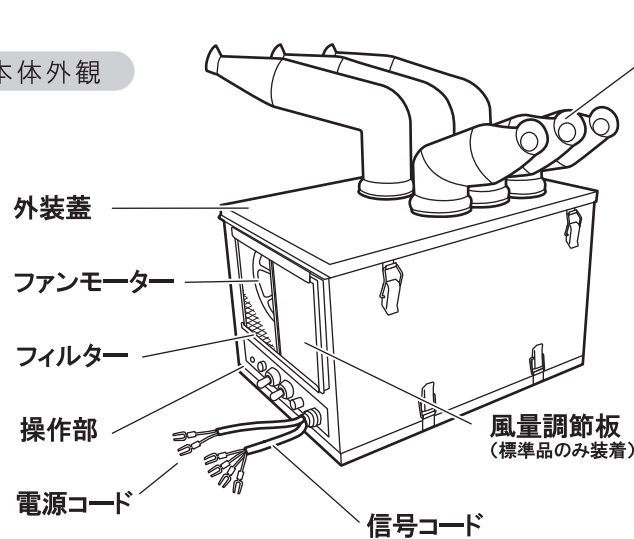
AC100V仕様



AC200V仕様

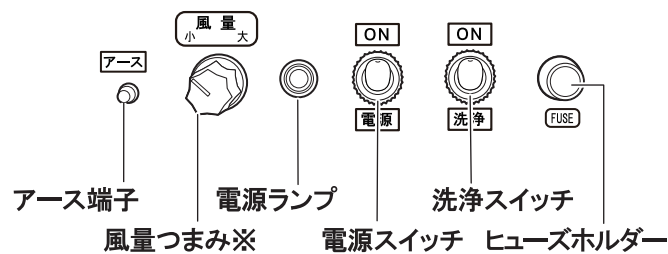
各部の名前と働き

本体外観



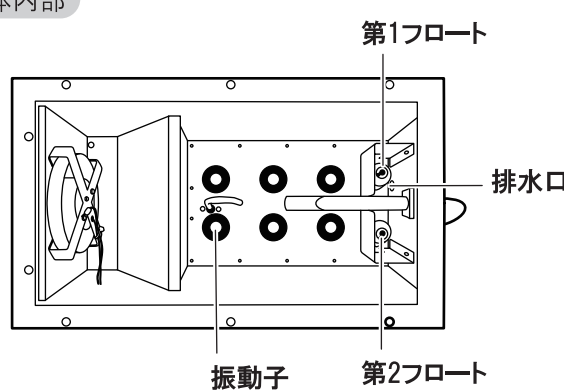
(※上図は標準品 NP796 200V)

操作部



※風量つまみはNP796-FC、NP796-FC-Tのみの仕様となり、標準品NP-796にはついておりません。

本体内部



同梱物リスト

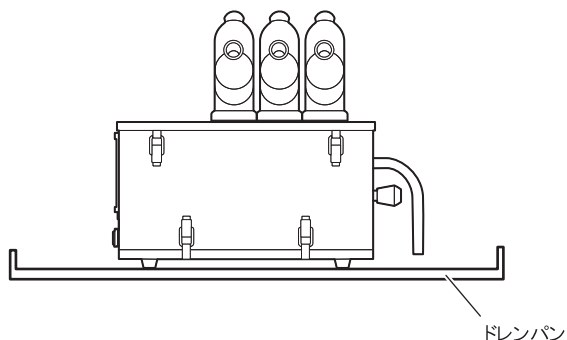
品 名	数量
本体	1
ストレーナー(Rc1/2)	1
ブッシング※	1
チューブフッティング(φ8×φ6 チューブ用)※	1
吐出管(2種類)	各3
吐出管用パッキング	6
給水ホース(φ8×φ6.2m)	1
排水ホース(φ8×φ16.2m)	1
止水栓(本体に取付)	1
アース線(本体に取付)	1
予備ヒューズ	1
取扱説明書	1

高周波利用設備許可申請書	1
委任状	1
高周波資料設備許可申請の手続きについて	1
委任状記載例	1
高周波資料設備許可申請書の添付書類	2
外観図	2
高周波資料設備許可申請の郵送先一覧	1

※ブッシング・チューブフッティングはストレーナーに取付けてあります。

据付け

- 1 加湿器本体を安定した平らな場所に設置してください。



- 本体下部には必ずドレンパンを設けてください。
- 保守点検をしやすいように設置してください。
- 吐出口をふさがないように設置してください。

- 2 万が一の点灯・落下事故に備え、転倒・落下防止対策を行ってください。

注意



不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いた場所に設置すると、製品が落下してけが・故障の原因となります。必ず安定した平らな場所に設置してください。

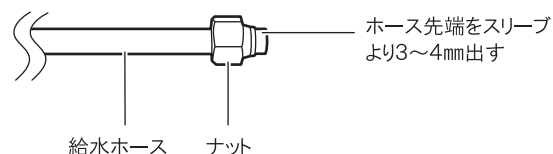


転倒・落下防止対策をすること

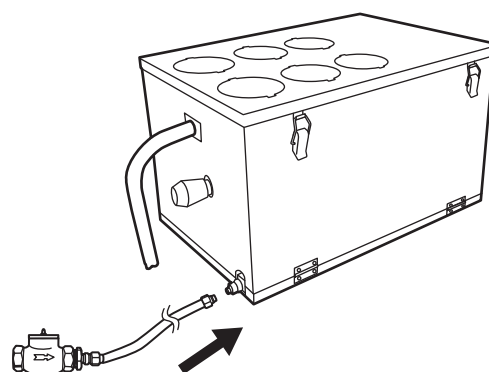
据置にて設置した際、転倒や落下を防止するためにも、必ず転倒・落下防止金具や耐荷重が十分なチェーン(市販品)を適正に使用してください。壁面への固定は、万が一落下・転倒した時、本機の重さ(液体が入った状態で約15 kg)に十分耐えられるネジ止め強度を確保できる場所を選んで取り付けてください。

付属品の取付け

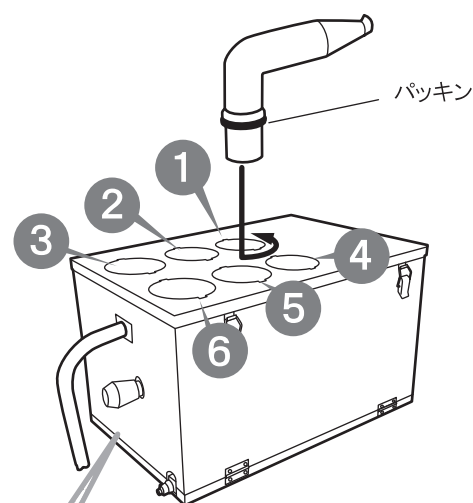
- 1 チューブフittingsを組み立てます。



- 2 給水用ホースを加湿器本体の給水継手、及びストレーナーに接続してください。

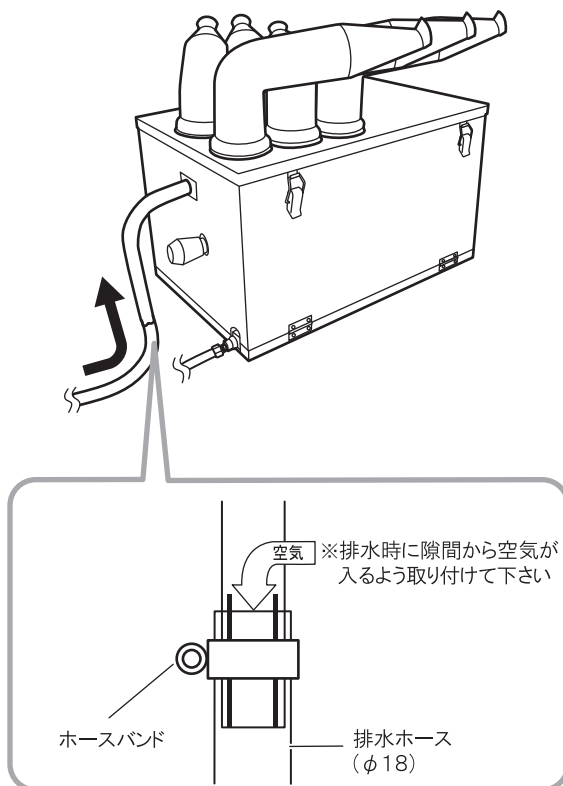


- 3 吐出管にパッキンがついていることを確認し、本体蓋の溝に合わせ、差込回して固定します。(数字は差込順)



止水栓が排水口にしっかり差し込まれていることを確認してください。

4 排水ホースを接続します。

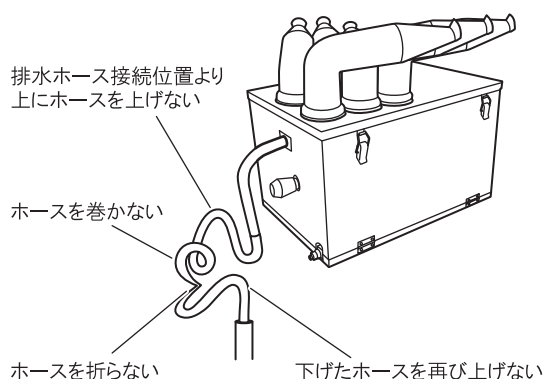


△ 注意

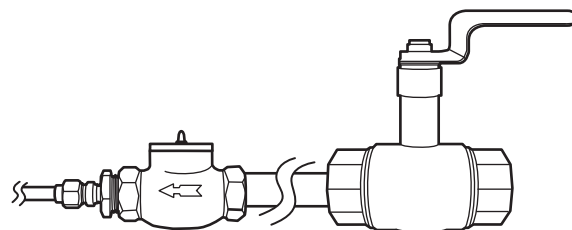
排水ホースの取り回しについて

排水ホースの状態によってはうまく排水ができず、本体から水があふれだす可能性があります。

余分なホースは切断して、最短距離で配管して下さい。



5 付属のストレーナーと給水バルブを接続します。



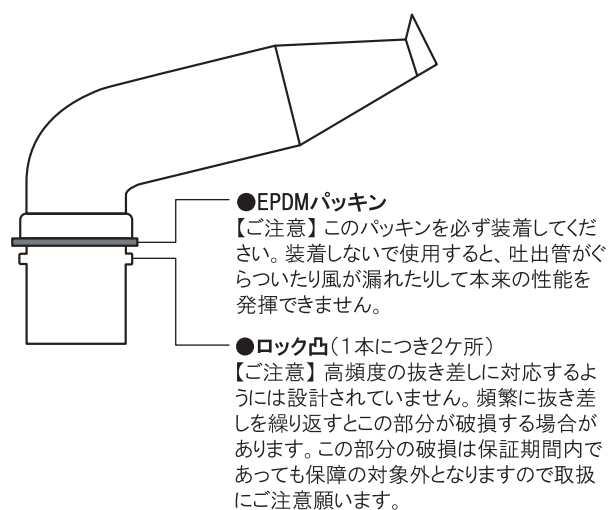
※給水配管は水道工事業者へご依頼ください。

△ 注意

加湿器へ給水ホースを接続する前に、給水バルブを開き、配管内部の汚れやゴミを排出してください。

※この作業をはぶくと電磁弁の内部にゴミがひっかかり、正常な動作をしなくなります。

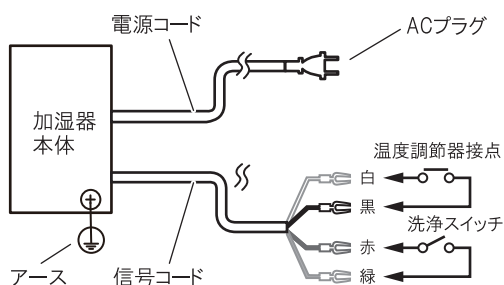
吐出管について



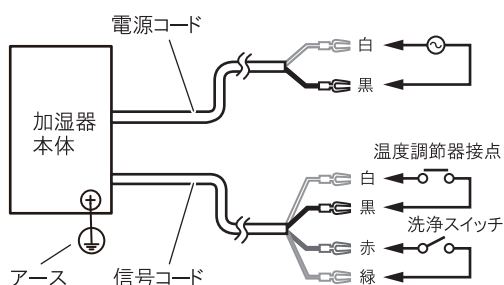
※万一破損の場合は別途お問い合わせいただけますので、「別売部品(P13)」をご覧ください。

電器配線

AC100V仕様



AC200V仕様



△ 注意

温度調節器は設定温度以下で接点がONになる動作になるもの、接点容量AC200V 3A以上のものをご使用ください。

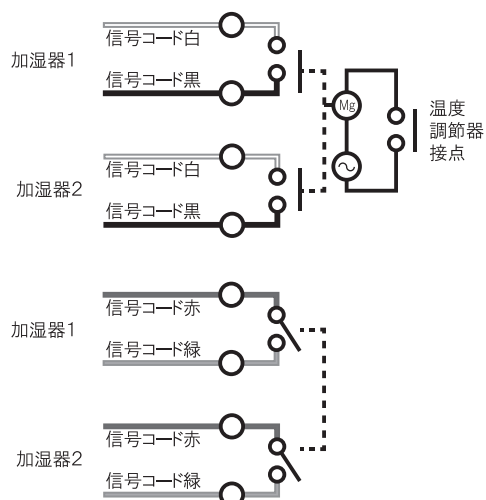
洗浄スイッチは接点容量AC200V 3A以上のものをご使用ください。

加湿器本体に供給する電源電圧を間違えないでください。特に、AC100V仕様のものにAC200Vを短時間でも加えますと、内部の電気部品が故障し、事故の原因になります。

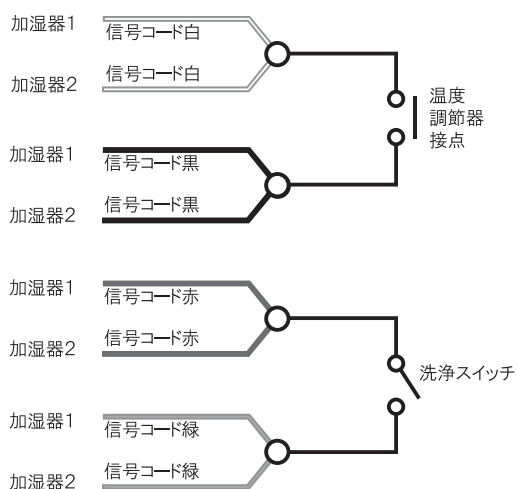
湿度調節器の設定をONにしたまま電源の入切による運転はしないでください。正常な運転が行われません。

(例)複数の加湿器を接続するときの配線

○ 正



× 誤



△ 注意

ひとつの接点で複数の加湿器を**制御**することはできません。

複数の加湿器を制御する場合は、加湿器の台数分の接点を用意してください。

ひとつの接点で複数の加湿器の**洗浄**をすることはできません。

複数の加湿器を同時に洗浄する場合は、加湿器の台数分の接点を有しているスイッチをご用意してください。

運転前の確認

施工後初めて運転する場合、必ず運転準備作業を行ってください。

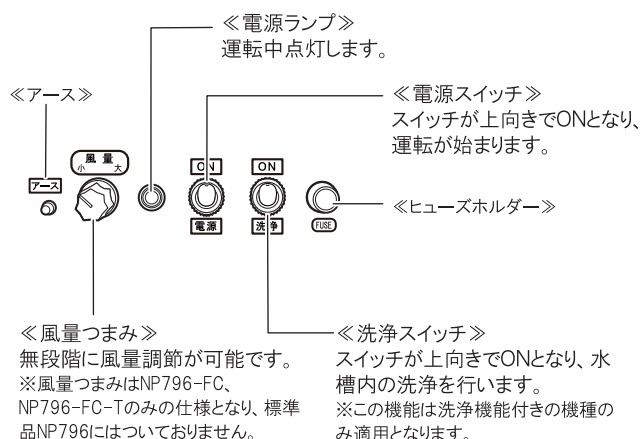
- 吐出管が本体外装蓋にしっかり固定されていることを確認してください。
- 給排水管が確実に接続されていることを確認してください。
- 電器配線が確実に行われていることを確認してください。
- 止水栓が奥まで差し込まれていることを確認してください。

初運転後の確認

施工後初めての運転した時は、必ず以下の確認をしてください。

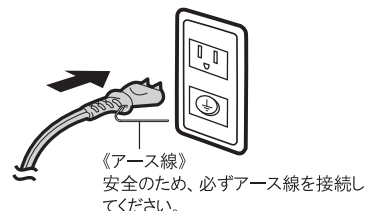
- 通水後、給水配管に水漏れがないことをご確認ください。
- 施工時のゴミ等が水槽及びストレーナーに溜まっている場合がありますので、施工後運転開始1～2日後に必ず水槽及びストレーナーの清掃をしてください。

操作方法



電源投入

- 1 給水弁を開き、加湿器本体及び湿度調節器の電源プラグをコンセントに差し込みます。



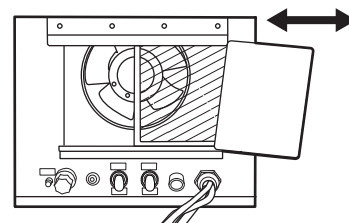
- 2 加湿器本体及び湿度調節器の電源スイッチをONにします。



水量が内部水槽の適正水位に達した時霧化が始まります。

風量調節

NP796標準品 は本体正面の風量調節板を左右にスライドして風量を調節します。



NP796 標準品

NP796-FC・NP796-FC-T は本体正面の操作版にある風量つまみで風量を調節します。



洗浄運転

※本機能は洗浄運転付きの機種のための適用となります。

- 1 通常運転時に、外部洗浄接点または洗浄スイッチをONにします。



給水が始まり、オーバーフローより水槽内の水が、浮遊しているゴミと一緒に排出されます。

- 2 数分間洗浄を行ったのち、洗浄接点または洗浄スイッチをOFFにしてください。

注意

加湿器本体にも洗浄スイッチがあります。外部洗浄スイッチと同じ働きをします。いずれか一方でもONの場合、洗浄動作を行います。

この洗浄運転操作では、水槽内にこびりついているゴミや汚れを取り除くことはできません。定期手稲手洗いによる清掃を必ず行ってください。

お手入れの前に…

注意

各種メンテナンスを行う時は必ず電源を切ってください。感電、故障の原因になります。

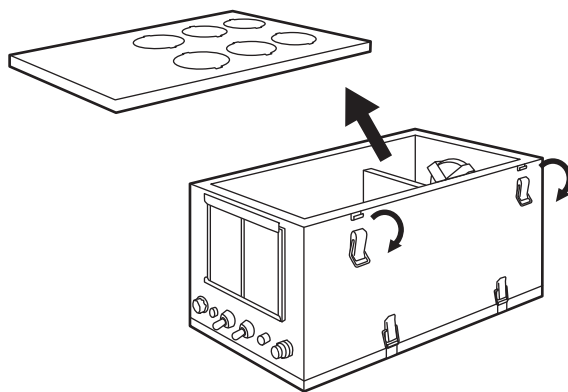
電源が入った状態で水槽内の数値が適切でないときフロートスイッチが動作した場合故障します。

加湿器と湿度調節器（接続されている場合のみ）の電源スイッチをOFFにし、給水弁を閉めてください。

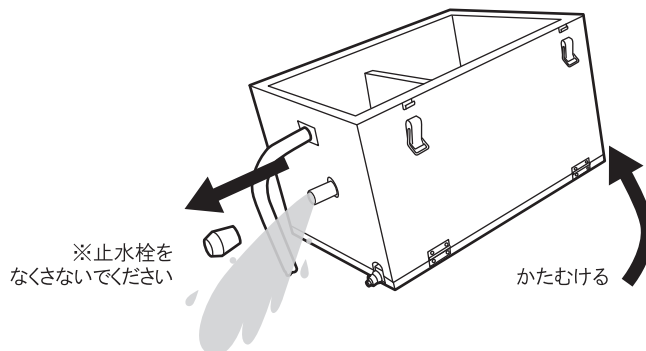


水槽部のお手入れ

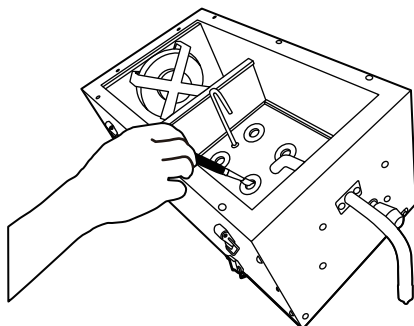
両側面上部4ヶ所にあるパチン錠をはずし、外装蓋をはずします。



止水栓をはずし、槽内の水を排水してください。



3 水槽内を柔らかい布やハケで清掃してください。

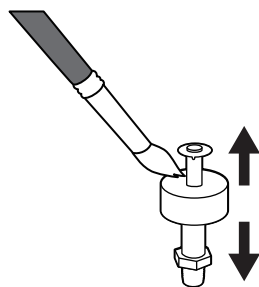


⚠ 注意

振動子表面の汚れはかたく付着していても、決して硬いものでこすり取らないでください。振動子に少しでも傷がつくと故障します。

熱い湯で洗浄清掃をしないでください。水槽が変形し、水漏れの原因になります。

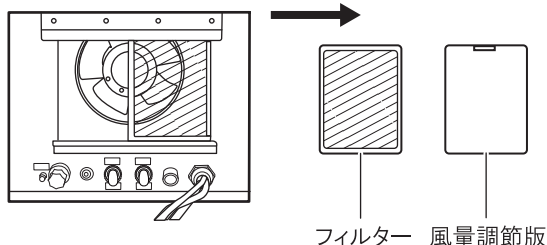
フロートのお手入れ



フロートスイッチの浮き子がスムーズに上下するかどうか、指で動かして確認してください。
汚れ、水垢等でスムーズに動かないときはハケ等で清掃してください。

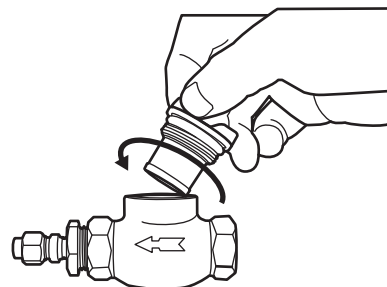
フィルターのお手入れ

風量調節板とフィルターを横にスライドさせ、はずします。フィルターは水洗いし、汚れを落とします。



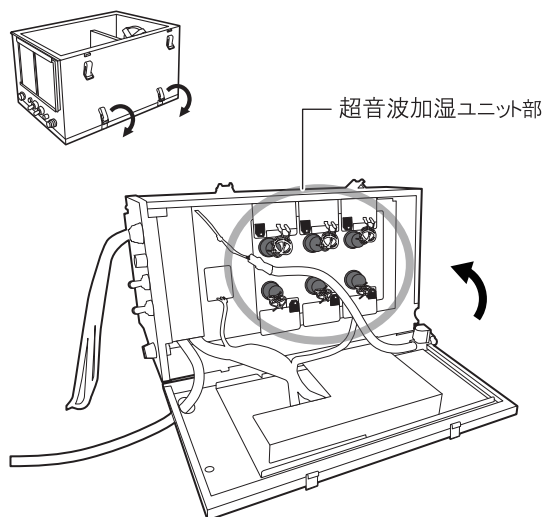
ストレーナーの清掃

給水バルブを開めてからストレーナーのキャップをはずし、メッシュ及び内部の清掃をしてください。



振動子の交換

1 本体下部の4ヶ所にあるパチン錠をはずします。本体を上部へ持ち上げて開き、超音波加湿ユニット設置部を露出させます。



※基板につながれているコードは絡まりや不慮の切断を防ぐため、まとめておいてください。

⚠ 注意

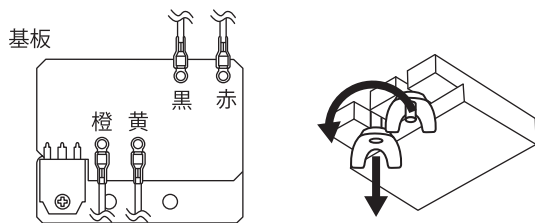
他の配線及び部品には手をつけないでください。故障の原因になります。

超音波加湿ユニットの振動子と基板は必ずセットで交換してください。能力が低下する場合があります。

交換の際、振動子に無理な力を加えたり、傷をつけないでください。故障します。

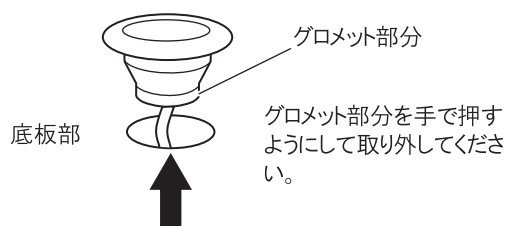
交換の際、ゴムブッシング部を確実に水槽底板に挿入してください。不確実な場合、水漏れの恐れがあります。また、振動子の不良の原因になります。

2 リード線4本を外し、蝶ネジ2本を緩め、基板をはずします。



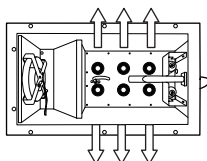
この時、リード線を引っ張らないようご注意ください。
リード線がはずれてしまうおそれがあります。

3 水槽底板についている振動子を水槽上面側へ押し出してはずします。



振動子部分へ無理な力を加えないでください。
故障の原因になります。

4 水槽底板の取付け穴へ振動子を取り付けます。



振動子には傾きがあります。
左図のように傾き方向を合
わせてください。

振動子部分へ無理な力を加えないでください。
故障の原因になります。

5 交換用の基板を取り付け、蝶ネジを締め配線を元通りに接続します。



配線の極性を間違えないようご注意ください。
間違えますと故障の原因になります。

接続用タブ端子は確実に接続してください。
不確実の場合、事故の原因になります。

振動子には寿命があります

水質、水温及び外的要因によって差がありますが、最良の状態約5000時間が目安です。その後は霧化の能力が落ちてきますので、振動子を含む超音波加湿ユニットを交換してください。

故障かな？

機器が動かない、動作がおかしいなど故障と思われる場合、本書をもう一度お読みください。

霧が出ない

①電源スイッチは入っていますか？	➡	電源プラグがコンセントにしっかりささっているか、コントロールパネルのON/OFFランプが点灯しているか確認してください。
②ヒューズが切れていませんか？	➡	新しいヒューズに交換してください。
③給水電磁弁が閉じていませんか？	➡	給水弁を開いてください。
④ストレーナーが詰まっていますか？	➡	ストレーナーを清掃してください。
⑤温度調節器の設定がOFFになっていませんか？	➡	温度調節器の設定をONにしてください。
⑥フロートスイッチの動作不良ではありませんか？	➡	フロートスイッチの浮きを清掃してください。

霧の発生が少ない

①水槽内が汚れたり、ゴミが浮いていませんか？	➡	水槽内のゴミを取り除き、清掃してください。
②振動子が劣化していませんか？	➡	霧化ユニットを交換してください。
③フィルターが目詰まりしていませんか？	➡	フィルターを清掃してください。
④ファンモーターが汚れていませんか？	➡	ファンモーターのゴミを取り除き、清掃してください。
⑤電源減圧が低くなっていますか？	➡	設置業者に連絡してください。

水槽内の水が溢れる

①洗浄スイッチがONになっていませんか？	➡	洗浄スイッチをOFFにしてください。
②オーバーフロー用ホースが目詰まりしていませんか？	➡	ホースの清掃をしてください。
③フロートスイッチの動作不良ではありませんか？	➡	フロートスイッチの浮きを清掃してください。
④水圧が高すぎませんか？	➡	給水弁を絞ってください。

給水しない

①フロートスイッチの動作不良ではありませんか？	➡	フロートスイッチの浮きを清掃してください。
②ストレーナーが詰まっていますか？	➡	ストレーナーを清掃してください。
③給水弁が閉じていませんか？	➡	給水弁を開いてください。

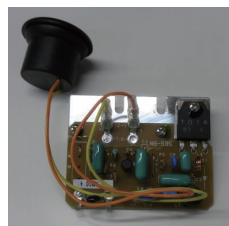
上記をご確認いただいても解決しない場合、お買い上げの販売店、または星光技研お客様サービスセンターへお問い合わせください。

長くお使いいただきますと、消耗部品の交換が必要となります。
本機的能力を最高に保つためにも、以下の消耗部品の定期的な交換をおすすめします。

- 本体内部部品の交換は専門的な知識が必要です。当社お客様サービスセンターで交換いたしますので、ご連絡の上ご送付ください。
- 本体をサービスセンターにお送りいただく際の送料は、お客様にてご負担いただきますようお願いいたします。
- 部品価格は販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。



超音波振動子
(6 個 / 台)



超音波加湿ユニット
(6 個 / 台)



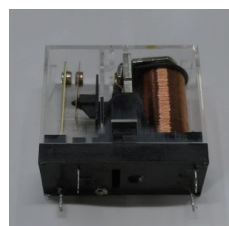
ファン
(1 個 / 台)



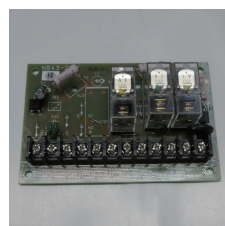
電磁弁
(1 個 / 台)



フロート
(2 組 / 台)



リレー
(3 個 / 台)



制御基板
(1 個 / 台)



トランス
(1 個 / 台)



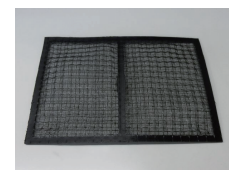
ヒューズ
(1 本 / 台)



オーバーフロー管用
パッキン
(1 個 / 台)



止水栓
(1 個 / 台)



ファンフィルター
(1 個 / 台)



超音波振動子は消耗品です【交換目安: 約5,000時間】

霧を発生させる超音波振動子は消耗品です。5,000時間のご使用を目安に、交換をおすすめいたします。(※当社お客様サービスセンターにて交換)

主な仕様

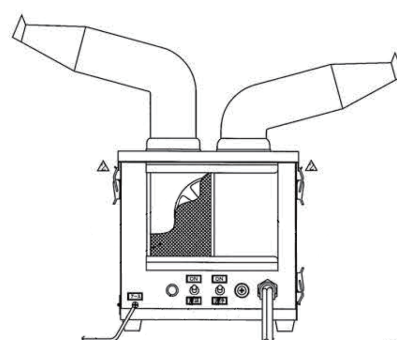
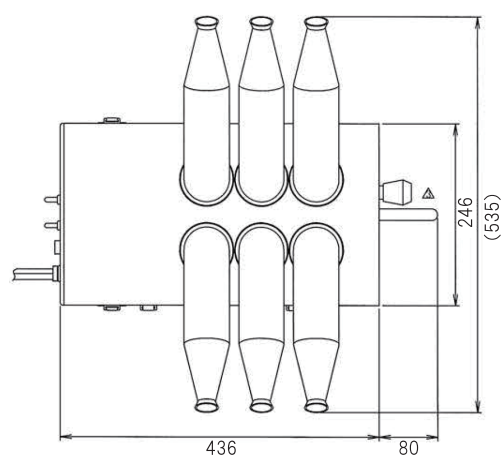
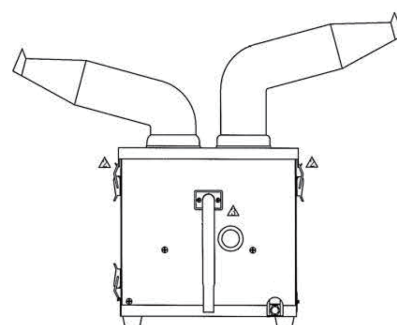
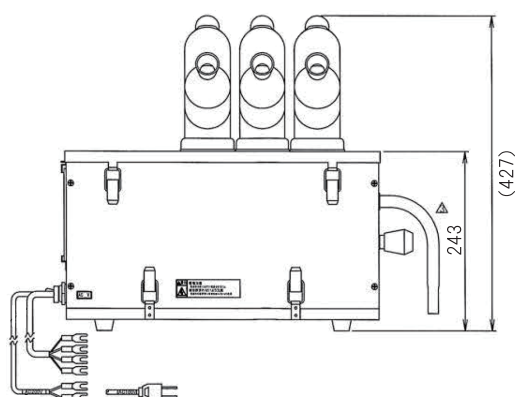
機器名称	
霧化ユニット数	6個
霧化量	3.4L/h以上(水温・周辺温度25℃において)
給水方式	水道直結・自動水位調節付
使用水質	市水・上水またはこれと同等のもの
給水圧力	0.05~0.2MPa
給水水温	5~40℃
許容範囲温度	5~40℃
許容範囲湿度	95%RH以下(ただし凍結・結露なきこと)
定格電圧	AC100VまたはAC200Vどちらか一方 50/60Hz
許容電圧範囲	定格の90~110%

加湿器【型式:NP796】

吐出管	ポリエチレン製成型パイプ(6本)
消費電力	約230VA
重 量	約12.6kg(ただし仕様により異なる)
外形寸法	下記参照
電源コード	2.5m
加湿能力	木造和室約56.77畳(94㎡)/プレハブ洋室93.6畳(155㎡) (3.4L/hで算出) (日本電機工業会規格JEM1426に基づき、20℃30%時の能力を表示)
付属品	ストレーナー・ホースバンド・給水ホース(φ8×φ6 2m) 排水ホース(φ18×φ16 2m)・吐出管(6本)
[本体装着済]	予備ヒューズ・エアフィルター・風量調節板 ※仕様により異なる

※仕様は製品改良のため、予告無く変更になる場合があります。

外形寸法



[製造元]



SEIKO GIKEN INC.

株式会社 星光技研

〒381-0012

長野県長野市柳原1573

[販売店]

星光技研 お客様サービスセンター

超音波噴霧器についてのお問い合わせはこちらまで

TEL 026-243-4055

【受付時間】

FAX 026-244-3455

月～金(土日祝を除く)

E-Mail: info@seiko-giken.jp

9:00～17:00

<http://www.seiko-giken.jp>

FAX・E-Mailは24時間受付